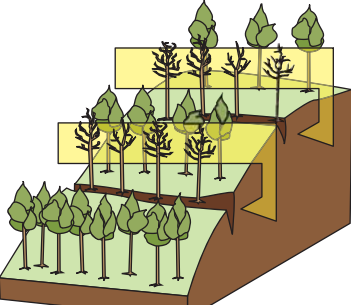
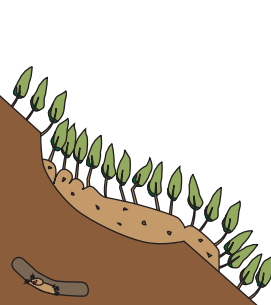
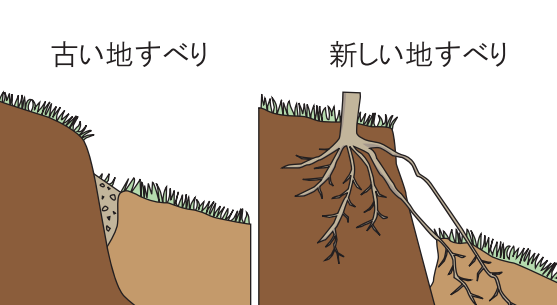


土砂災害の種類と前ぶれ（予兆現象）

土砂災害の種類	前ぶれ（予兆現象）		
<p>がけ崩れ</p>  <p>地面にしみ込んだ水が斜面をゆるめ、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることを「がけ崩れ（急傾斜地崩壊）」といいます。</p>	 <p>がけに割れ目が見える</p>	 <p>がけから水が湧き出ている</p>	 <p>がけから小石がぱらぱら落ちてくる</p>
<p>地すべり</p>  <p>地下水などの影響により、地面が広い範囲にわたってゆっくりとすべり落ちるのが、「地すべり」です。</p>	 <p>沢や井戸の水が濁る</p>	 <p>地面にひび割れができる</p>	 <p>斜面から水が噴き出す</p>
<p>土石流</p>  <p>山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものを「土石流」といいます。</p>	 <p>山鳴りがする</p>	 <p>急に川の流れが濁り、流木が混ざっている</p>	 <p>雨が降り続けているのに川の水位が下がる</p>
<p>このほかにも・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする ■ ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする ■ 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる <p>などの現象が見られることがあります。</p>			

発生しやすい場所

 <p>立木が線状に枯れている箇所は亀裂沿いが多い</p>	 <p>不規則な木の曲がりや地すべり・崩壊跡地</p>	 <p>古い地すべり 新しい地すべり</p> <p>滑落崖の形状や植生が一部異なっている箇所は、地すべり・崩壊跡地</p>
--	--	---

土砂災害に注意する雨量の目安

土砂災害は、地中にしみ込んでいる水の量が多いほど発生しやすく、規模も大きくなります。また、集中豪雨など、短時間に集中する場合も危険性が増します。

Point 1時間に20mm以上、または、降り始めからの連続雨量が100mm以上の雨となったら土砂災害の発生に気をつけましょう。

避難を助ける情報

市から避難勧告や避難指示が発令された場合はもちろん、その他の情報にも注意しましょう。

Point 新潟県や新潟地方気象台から土砂災害警戒情報が発表された場合は、自主的な避難を開始しましょう。

地区ごとの土砂災害危険箇所図の掲載ページ

三条市で土砂災害発生のおそれのある地域を地区ごとに示しています。

